

若者がまちづくりに関わる仕組みづくりについて

1 「若者がまちづくりに関わる仕組みづくり」について

「若者がまちづくりに関わる仕組み」を創るために、24年度は、「若者がもっとまちづくりに参加するためには何が必要か」をテーマとして、当事者である若者と行政、NPO、企業などが一緒に考えるフォーラムを開催しました。このフォーラムの企画や進行補助は学生が中心となって実施しました。そのため、事前に学生対象のファシリテーション研修を実施し、受講生の中から学生スタッフを募集するとともに、仕組みづくりの先進事例として鳥取県の学生人材バンクを訪れ、その仕組みについて学びました。

① ファシリテーション研修

学生を対象にさまざまな立場の人たちが一緒に「まちづくり」に取り組むコツ、そのために役立つファシリテーションを学ぶ研修を開催しました。

| 期日 | 会場 | 定員 |
|-----------|-------------|------|
| 9月18日(火) | 鳥取県庁 2F 会議室 | 100名 |
| 10月30日(火) | 鳥取県庁 2F 会議室 | 100名 |

■第1回 9/18 (火)

楽しい会議づくりに役立つファシリテーションの黄金のコツ

■第2回 10/30 (火)

まちづくりを進めるための「超」具体的なノウハウ

※ 三重大学、皇學館大学、鈴鹿工業高等専門学校、名城大学から延べ29名の参加者がありました。

② 鳥取スタディ・ツアーの実施

学生とともに鳥取県の学生人材バンクを訪問し、先進事例を学ぶとともに、学生人材バンク主催の第1回全国 know 村サミットに参加し、全国から集まった大学生と交流しました。

■ 1日目 10/6 (土)「第1回全国 know 村サミット」参加



■ 2日目 10/7（日）鳥取人材バンク 現地調査

鳥取人材バンク代表 田中玄洋氏より、鳥取での取組について説明いただき、鳥取大学前にある、鳥取情報市場を見学しました。

人材バンクとは

代表の田中玄洋氏が鳥取大学在学中に発足した団体で、「学生にキッカケを、地域に笑顔を」をキャッチコピーに、情報提供、企画運営、キャリア支援を行っている。2008年にNPO法人化され、学生には「生の情報、人と接すること」を地域には「地域だけではできないこと」を届けるため活動している。



③ 学生と大人のトークフェスタみえ！の開催

学生など若い世代がもっとまちづくりに参加するためには何が必要かということについて、学生が企業や地域、行政などと一緒に考える場として12月22日に三重大学環境・情報科学館で「学生と大人のトークフェスタみえ！」を開催しました。

学生スタッフを中心となって、事前準備及び当日の運営を行いました。

当日は、32名が参加し（学生15名、NPO・企業・行政17名）7班に分かれワークショップを行いました。



各班からのアイデアを発表後、全員で投票を行った結果、

○大晦日に伊勢神宮まで常夜灯を灯そう！

○学生議員制度 大学生が知事、市町長との本気の公開討論会の実施

○地域C a f e おしゃべり会を開催

○地元のお年寄りと1年を通した（農）作業体験

などのアイデアに対して、多くの支持が集まりました。

★各班から出されたアイデア

テーマ:若者がもっと地域で活躍するには？

| |
|-------------------------------------------|
| ●GTプロジェクト —Give and Take 持ちつ持たれつ— |
| ●おコタcafe 空き家元気プロジェクト |
| ●合コンで開墾 ～耕作放棄地につながる出会い～ |
| ●トークフェス 若者と年配の方の交流会 |
| ●若者の得意分野のコラボレーションの協力 ex)自分の作品をシャッター商店街に展示 |
| ●学生の地域活動に単位を与える～潜在的な学生も関わられるよう～ |
| ●地域と学生の出会う場、話し合う場をもうける 学生は責任を持つ仕事でも大丈夫！ |
| ●学生側の仲間づくり(専門分野を活かして楽しく— ヨコのつながり) |
| ●みんなが学ぶ企画・広報セミナー |
| ●情報キャッチャー、ピッチャー |
| ●スポンサー募集!! |
| ●絆づくりイベント(サロン)親子参加型 |
| ●守れ！じっちゃん ばあちゃん |
| ●地域Cafe(*^ω^*)/ おしゃべり会 |
| ●じゃんじゃんコラボ♪でお・と・く |
| ●各地域の学生がお互いの地域を紹介するイベントを開催 |
| ●学生主体の地元スイーツカフェ(商店街の空き店舗を利用) |
| ●地元のお年寄りと1年を通した(農)作業体験 |
| ●学生議員制度 大学生が知事、首長との本気の公開討論会 |
| ●大学で市民による出前講座を開催する |
| ●単位奪取！三重の魅力再発見学生コンテスト ※取得単位が変動します |
| ●みえ黄門 旧街道を行脚する |
| ●大晦日に伊勢神宮まで火(常夜燈)を灯そう |
| ●学生劇団『三季』 |

2 「若者がまちづくりに関わる仕組みづくり」に関わって感じたこと

(参加者の声)

「学生と大人のトークフェスタみえ！」終了後、参加者からは、「出された意見を是非実現できるようにしていきたい」「このような機会をもっと増やしていくべき」という意見や「普段なかなか話す機会のない人たちから違う目線の意見が聞けて参考になった」などの声が寄せられました。参加したNPOから、アイデアを実現するための具体的な場所の提供について申し入れがあるなどの反響がありました。

(学生スタッフとして参加して)

今回の活動を通して、地域の方々は私たちが思っているよりも若者の力を必要としてくれているのだと強く感じました。地域を良くしたい！という思いを共有し、もっと気軽に、主体的にまちづくりに取り組んでいこうと思います。

(三重大学人文学部4年 大島慶之)

「まちづくりに関わりたい学生、それを応援してくれる地域の方々の存在を実感し、双方をつなぐ仕組みが必要であると気づきました。これからも積極的にまちづくりに関わっていきたいと思います。

(三重大学人文学部4年 中谷真由美)